

令和4年度 秋季入学式

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ご参列の保護者の皆様、ご家族の皆様、本日は誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

本校は、平成30年4月に開校し、昨年度、ようやく1年次生から4年次生までがそろったばかりの学校ですが、本校の校名の「みらい創生」という言葉には、生徒のみなさん一人一人が、教職員と一緒に、自らのかけがいのない「みらい」を主体的に創り出してほしいという、強い願いが込められています。

また、本校の校歌は、「ひろしま文化大使」で、ビオラ奏者の沖田孝司さんが、作詞、作曲していただきましたが、この歌詞の中にも、「僕らは創るみらいを創る」、「唯一無二の自分の世界」、「我が人生己が力で切り拓く」、など、校名に込められたのと同じ思いが、ちりばめられています。

未来と聞くと、みなさんはどんなことをイメージするでしょうか？未来ということについて、フランスのヴィクトル＝ユーゴーは、次のような言葉を残しています。

未来にはいくつかの名前がある
意志が弱い者はそれを不可能と呼び
臆病な者は未知と呼ぶ
しかし勇敢な者はそれを理想と呼ぶ

未来に向かってチャレンジをしていく中で、時には困難に遭遇することもあります。

その時、はじめから自分にはその困難を乗り越えることができないと思っている人には、自分の望む未来は実現不可能なものに思えてきます。

また、失敗を恐れてその一步を踏み出すことができない人にも、自分の望む未来は実現できるのかどうか未知のままです。

しかし、自分にはその困難を乗り越えることができると自信を持って歩み始めることができる人には、自分の望む未来は自分の理想どおりに実現していくものだと思えてきます。

大切なのは自分の心の有り様です。自分の力を信じてチャレンジできるかどうかで未来は変わってきます。

生徒のみなさんは、本校でどのような未来をつくっていきたいと考えていますか？
そのためにどのようなことにチャレンジしてみたいと考えていますか？

本校の先生方は、皆さんの未来に向けたチャレンジをしっかりとサポートしていきます。分からないことや困ったことがあれば、一人で悩まずにいつでも相談してください。

そして、本校を卒業するときには、「広島みらい創生高等学校で学んでよかった」「私の母校は広島みらい創生高等学校です」と、大きく胸を張って言えるようになってください。

今日、ここから始まる「広島みらい創生高等学校」での日々が、輝きを持った学校生活となり、未来を切り拓く礎となることを祈念し、式辞といたします。

令和4年10月3日

広島市立広島みらい創生高等学校長 井林 秀樹